

問1 ブラジルでは、さとうきびを原料としたバイオエタノールの普及が進んでいます。このバイオ燃料の活用と、現在のブラジルにおける環境保全への取り組みについて説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)

1. 石炭による火力発電の不足分を補うために活用されており、原料確保のために熱帯雨林のさらなる開発を推奨している。
2. 二酸化炭素の排出量を増やす要因となるため使用が制限されており、代わりに安価な輸入石炭による発電への切り替えが進んでいる。
3. とうもろこしを主原料とする北米の方式に完全に移行しており、さとうきび畑だった土地はすべて熱帯雨林へと復元されている。
4. 再生可能エネルギーの供給割合を高めるために活用されており、増産にあたっては熱帯雨林を伐採しないような対策がとられている。

問2 南アメリカ大陸のアンデス山脈において、リヤマが人々の生活を支える上で果たしている主な役割の説明として、最も適切なものはどれか。 (2016年 茨城県公立入試 類似)

1. 大規模な小麦栽培における農耕作業の動力
2. 低地の熱帯雨林における水上交通の手段
3. 険しい地形での荷物の運搬や、衣服を作るための毛の供給
4. 乾燥した砂漠地帯を横断するための長距離移動の手段

問3 オーストラリアの貿易相手国の変化について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる国名と、その背景の組み合わせとして正しいものはどれですか。「1960年の統計において、オーストラリアの輸出額全体の約26%を占める最大の貿易相手国は（ ）であった。しかし、その後は地理的に近い日本や中国などのアジア諸国との結びつきが強まり、貿易構造は大きく変化した。」 (2026年 秋田県公立入試 類似)

1. イギリス — かつての植民地としての歴史的・経済的なつながりが非常に強かったため
2. アメリカ合衆国 — 冷戦下における軍事同盟に基づき、農産物の輸出を独占していたため
3. フランス — 南太平洋の島々を共同統治していた関係から、自由貿易が盛んだったため
4. ドイツ — 第二次世界大戦後の復興需要により、鉱山資源の主要な輸出先となっていたため

問4 オセアニア州の諸国に見られる歴史的背景と国旗の関係について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)

1. オセアニアの国々の国旗は、イギリスとの独立戦争での勝利を契機として、すべてイギリスとは無関係な独自の意匠に変更された。
2. オーストラリアの国旗にあるユニオンジャックは、将来的にイギリスを併合するという建国当時の目的を示している。
3. オーストラリアやフィジーの国旗にはイギリスの国旗が含まれており、これはかつての植民地支配の歴史を反映している。
4. 貿易の拡大に伴い、オセアニアの全ての国々がイギリスの国旗を自国のデザインの一部として採用することが義務付けられた。

問5 ある国について、人口密度が1平方キロメートルあたり約3人と極めて低く、森林面積の割合が17.4%、耕地面積の割合が4.0%という統計データがあります。この国の名称として適切なものを選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. インドネシア
2. オーストラリア
3. マレーシア
4. ロシア

問6 世界のとうもろこしの用途別需要の変化をまとめた統計において、1990年代末にはほとんど存在しなかった「特定の用途」への需要が、2010年代半ばには年間1億3000万トンを超える規模まで急増しています。この需要の変化が起きた背景と、その用途の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)

1. 発展途上国の人口増加を背景に、家畜の飼料用ではなく直接的な食用としての利用が増えた。
2. 石油資源の枯渇を背景に、石油製品に代わるプラスチック原料としての利用が増えた。
3. 化学肥料による土壌汚染を背景に、環境に優しい有機肥料の原料としての利用が増えた。
4. 地球温暖化対策や石油価格の変動を背景に、自動車の代替燃料であるバイオ燃料としての利用が増えた。

問7 チリの輸出品目に関する近年の統計において、輸出額の第1位は「銅」であり、輸出総額の5割を超えています。これに続く第2位や第3位にランクインする、チリの産業の特徴を反映した品目の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 小麦、とうもろこし
2. 野菜・果実、魚介類
3. 羊毛、肉類
4. 自動車、機械類

問8 南アメリカ州のアマゾン川流域などで見られる熱帯林の減少と、森林面積の縮小が地球環境に与える影響やその背景について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2026年 秋田県公立入試 類似)

1. 急激な砂漠化を食い止めるために、熱帯林を伐採して乾燥に強い外来種の樹木を植える大規模な環境改変が行われている。
2. 先進国からの植林支援が過剰に行われた結果、もともと自生していた樹種が駆逐され、生態系のバランスが崩れている。
3. 世界の穀物輸出の過半数を占めるために森林を水田に作り替えた結果、メタンガスの放出量が増加し地球温暖化の原因となっている。
4. 肉牛の放牧地の確保や大豆などの農地開発、道路建設などのために大規模な伐採が行われ、二酸化炭素の吸収源が失われている。

問9 ブラジルの農産物生産統計において、2006年には約4億7741万トンであったある農作物の生産量が、2010年には約7億1746万トンへと短期間で大幅に増加しました。この農作物は、自動車などの燃料として利用されるバイオ燃料の原料となりますが、この農作物の名称として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

1. コーヒー豆
2. オレンジ
3. バナナ
4. さとうきび

問10 経線と緯線が直角に交わり、経線が垂直な直線として描かれる世界地図において、日本の東京を通る経線に着目します。東京からこの経線に沿って真南（南方向）へ進んだとき、赤道を越えて到達する南半球の大陸はどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)

1. アフリカ大陸
2. 北アメリカ大陸
3. オーストラリア大陸
4. ユーラシア大陸

問11 南アメリカのアンデス山脈に見られる伝統的な民族衣装「ポンチョ」について、この衣服が主に「毛織物」で作られ、かつ袖のない形状をしている理由として、地域の自然環境や生活の背景を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

1. 標高が高く冷涼な気候であり、家畜として飼育しているリヤマやアルパカの毛が容易に入手できるため。
2. 熱帯の低地において、通気性を高めて湿気を逃がしやすくし、害虫から身を守るため。
3. 広大な乾燥地帯において、砂風が衣服の中に入るのを防ぎ、直射日光を遮るため。
4. 多雨な温帯地域において、雨に濡れてもすぐに乾くよう、植物の繊維を薄く編み込む必要があるため。

問12 1990年代以降、世界的な需要の高まりを受けて大豆の増産を続け、輸出量を大幅に伸ばしてきた南アメリカの国として正しいものを答えなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. チリ
2. ペルー
3. ブラジル
4. アルゼンチン